

## 主題：聖書の核心

メッセージ 8

### エレミヤ書の核心

聖書：エレミヤ 2:13. 17:9. 13:23. 23:5-6. 33:16. 31:33-34

- I. エレミヤ書の核心は、三つの事柄、すなわち、神がわたしたちに願うこと、わたしたちが墮落した状態において何であるか、キリストがわたしたちにとって何であるかを含みます。これら三つの事柄を見るために、わたしたちはエレミヤ書の殻を「割り」、内側の核心、すなわち、全聖書の全体的な教えに集中する必要があります：
- II. 神がわたしたちに願うことは、おもにエレミヤ書第2章13節において述べられています。それは神が生ける水の源泉であることを啓示します：
- A. 神はわたしたちが生活のために彼を生ける水の源泉とすることを願っています。これが意味するのは、彼はわたしたちがご自身をわたしたちの存在の源、源泉とすることを願っているということです。神を生ける水の源泉とする唯一の道は、日ごとに彼から飲むことです。
- B. 神のエコノミーにおける神の意図は、生ける水の源泉、源となって彼の選びの民を満足させて、彼らの享受となることです。その目標は神の増し加わり、神の拡大としての召会を生み出して、神の表現のための神の豊満とさせることです——13節。哀 3:22-24. I コリント 1:9。
- C. ヨハネ第4章14節後半は、流れる三一の神を啓示します。御父は源泉であり、御子は泉であり、その霊は流れる川であって、永遠の命の総合計である新エルサレムという結果となります——ヨハネ 4:14 後半。
- D. わたしたちが復活において一つ霊から飲むことによって、わたしたちはからだの肢体となり、からだとして建造され、キリストの花嫁となるように用意されます——I コリント 12:13. 啓 22:17. ヨハネ 4:14 後半。
- E. 生ける、霊の岩としてのキリストは、神の律法の權威によって打たれました。それは命の水が復活において彼から流れ出て、彼の贖われた民の中へと入って彼らに飲ませるためです——出 17:6. I コリント 10:4。
1. わたしたちの法理的な贖いのための血は、わたしたちを罪の意識から救います。わたしたちの有機的な救いのための復活における命の水は、わたしたちを罪の力から救います——創 2:22. ヨハネ 19:34. ゼカリヤ 13:1. 詩 36:8-9. 啓 21:6. 詩歌 731番、1節。
2. キリストはわたしたちの生む岩であり、わたしたちの救い、力、避け所、隠れ場、保護、おおい、安全です——申 32:18. サムエル下 22:47. 詩 95:1. 62:7. 94:22. イザヤ 32:2。
- F. キリストにある信者として、わたしたちは命の水を飲んで、流す方法を見る必要があります——ヨハネ 4:10, 14. 7:37-39. 参照、箴 11:25：

1. わたしたちは一つ霊を飲む立場に置られました—— I コリント 12:13。
2. 命の水を飲むために、渇きの必要があります——出 17:3 前半、詩 42:1-2、ヨハネ 7:37、啓 21:6。
3. わたしたちは主に來る必要があります——ヨハネ 7:37、啓 22:17。
4. わたしたちは主に生ける水を求める必要があります——ヨハネ 4:10、7:37、啓 22:17。
5. わたしたちは、わたしたちの人の霊と真実の中で霊なる神と接触する必要があります——ヨハネ 4:23-24。
6. わたしたちは主に語ることによって、主によって、主のために、主の中で、主と共に、喜びをもって救いの泉から水をくむ必要があります——詩 46:4、イザヤ 12:3-6。
  - a. わたしたちは絶えず主と語ることを実行する必要があります——民 20:8、ピリピ 4:6-7, 12、詩歌 210 番。
  - b. わたしたちは罪を告白する必要があります——ヨハネ 4:15-18、I ヨハネ 1:7, 9。
  - c. わたしたちは主を賛美する必要があります——ピリピ 4:4、ヘブル 13:15、詩 119:164。
  - d. わたしたちは主に感謝する必要があります——エペソ 5:18, 20。
  - e. わたしたちは主の御名を呼び求める必要があります——使徒 2:21、I コリント 12:13, 3、I テサロニケ 5:17、I コリント 1:2、士 15:18-19、哀 3:55-56。
  - f. わたしたちは主に歌う必要があります——エペソ 5:18 後半-19、列王上 6:7、歴代上 6:31-32、歴代下 20:21-22。
  - g. わたしたちは福音を宣べ伝え、キリストが達成したことを人に明らかにする必要があります——ローマ 1:16、ヨハネ 4:32-34。
  - h. わたしたちは召会の集会の中で機能する必要があります——I コリント 14:4 後半, 26。
7. わたしたちは打たれたキリストと一体化される必要があります——出 17:6、ヨハネ 7:38、雅 2:8-9, 14、ピリピ 3:10、ヘブル 12:2。
8. わたしたちは、わたしたちの存在の中でキリストを首位とする必要があります——啓 22:1、コロサイ 1:18 後半。
9. わたしたちは神聖な性質にしたがってすべてのことを行なう必要があります——啓 22:1、II ペテロ 1:4。

III. エレミヤ書の核心のもう一つの面は、わたしたちがわたしたちが墮落した状態において何であることを暴露することです：

- A. 「心はすべてのものにまさって偽るもので、それはいやされることはない。だれがそれを知ることができよう？」—— 17:9。
- B. 「クシ人は自分の皮膚を、豹は自分の斑点を変えることができようか？もしできるならば、悪を行なうのに慣れたあなたがたも、善を行なうことができる」—— 13:23。
- C. 墮落した人として、わたしたちは自分自身において、自分自身によって、自分自身をもっていやされることはなく、変えられることはできません——ローマ 7:18、マタイ 12:34-35、15:7-11, 18-20、歴代上 28:9、参照、エゼキエル 36:26-27、エレミヤ 32:39-40。

IV. エレミヤ書の第三の事柄は、キリストがわたしたちにとって何であるかです：

- A. 「見よ、その日々が来ようとしていると、エホバは告げられる。その時、わたしはダビデのために義なる若枝を起こす……『エホバわたしたちの義』、これが、彼が呼ばれる彼の名である」—— 23:5-6; 参照、33:16 :
1. 「エホバわたしたちの義」は神性におけるキリストを指し、「義なる若枝」は人性におけるキリストを指しています。
  2. ここの名、「エホバわたしたちの義」は、キリストがダビデの子孫として、単に人であるだけでなくエホバであること、すなわち天と地を創造し、アブラハムを選び、イスラエルの種族を確立し、ダビデの主であり、ダビデが主と呼んだ方でもあることを示します (マタイ 22:42-45. 参照、啓 5:5. 22:16)。キリストはエホバご自身 (ダビデの主) である若枝 (ダビデの子) として来て、神の民の義となりました。
  3. 「わたしたちの義」は、キリストがわたしたちと一になり、わたしたちの義となることを示します (I コリント 1:30. II コリント 5:21)。キリストは彼の贖いに基づいて、わたしたちの義となります:
    - a. キリストはダビデの子孫として肉体の中で来て、十字架上で死んで彼の血を流し、わたしたちの罪を洗い去り、贖いを完成しました (エペソ 1:7. ヘブル 9:22. I ペテロ 1:18-19. ガラテヤ 3:13. エゼキエル 18:4, 20. ローマ 6:23)。
    - b. わたしたちは彼の贖いを基礎として、彼の中へと信じて神の赦しを受けることができ (使徒 10:43)、神はわたしたちを義とし (ローマ 3:24, 26)、キリストをわたしたちの義とならせ、わたしたちに義の衣を着せることができます (イザヤ 61:10)。
    - c. これは、三一の神の具体化としてのキリスト (コロサイ 2:9) のために道を開き、彼がわたしたちの中へと入ってわたしたちの命 (コロサイ 3:4 前半)、わたしたちの内なる命の法則 (エレミヤ 31:33)、わたしたちのすべてとなり、ご自身をわたしたちの全存在の中へと分与して、神の永遠のエコノミーを完成します。
- B. 「これらの日々の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこれであると、エホバは告げられる。わたしはわたしの律法を彼らの内なる各部分に置き、それを彼らの心に書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。そして、彼らはもはや、それぞれ隣人とそれぞれ兄弟に教えて、『エホバを知れ』とすることはない。まことに、彼らのうちの小さな者から彼らのうちの大きな者まで、彼らはみなわたしを知るようになるからであると、エホバは告げられる。まことに、わたしは彼らの罪科を赦し、もはや彼らの罪を思い出さないからである」——エレミヤ 31:33-34. イザヤ 42:6 :
1. 新しい契約の中心、内容、実際は、内なる命の法則です (ローマ 8:2)。その本質において、この法則は神聖な命を指しており、その神聖な命は三一の神です。三一の神はすべてを含むキリストにおいて具体化され (コロサイ 2:9)、命を与える霊として実際化され (I コリント 15:45)、手順を経て究極的に完成されて、彼の選民のすべてとなっています。
  2. その命によれば、新しい契約の法則は三一の神であり、その機能によれば、それは全能の神聖な能力です。この神聖な能力はわたしたちの中であらゆることを行

- なって、神のエコノミーを完成することができます。
3. この能力にしたがって、わたしたちは神を知り、神を生き、命と性質において神となり、彼の増し加わり、彼の拡大となり、彼の豊満となって彼を永遠に表現します——エペソ 1:22-23. 3:19-21。
  4. さらに、内なる命の法則の能力は、わたしたちをキリストのからだの肢体に構成し（I コリント 12:27. エペソ 5:30）、それにはすべての種類の機能があります（ローマ 12:4-8. エペソ 4:11、16）。
  5. 命の法則をわたしたちの心に書き記すことは、神聖な命がわたしたちの存在の中心（わたしたちの霊）から周辺（わたしたちの心）に拡大することについての新約の教えと一致します（ヘブル 8:10. ローマ 8:9. エペソ 3:17）。神が彼の律法をわたしたちの心に書き記すのは、わたしたちの霊から心の中に動いて、彼であるものをわたしたちの存在の中へと書き記すことによってです（II コリント 3:3）。
  6. 命の法則によれば、神はわたしたちの神であってわたしたちの嗣業となり、わたしたちは彼の民であって彼の嗣業となります——エペソ 1:11, 14, 18。
  7. 神を知るとは神を生きることです。わたしたちの内側にある神聖な命の自然で、自動的な機能を通して、わたしたちは神を知る能力、神を生きる能力、神の命と性質において彼と一になりさえする能力を持って、彼の団体の表現となります。
  8. 新しい契約において、赦しは贖いを暗示し、贖いと等しくさえあります（エペソ 1:7. コロサイ 1:14）。神はキリストの贖いに基づいて彼の民の罪科を赦し、忘れます（ヘブル 8:12. 9:22）：
    - a. 神の赦しの恵みは、わたしたちに神を畏れさせます（すなわち、神を極みまであがめ、敬い、尊敬し、尊重させます）——詩 130:4; 86:11。
    - b. 神の赦しの恵みは、わたしたちに神を極みまで愛させます——ルカ 7:47-50。
    - c. 罪の赦しは、高く上げられたキリストが人に与える賜物です——使徒 5:31。